

HRMOS 応募フォームでの Google タグマネージャ活用方法について

HRMOSにはGoogle タグマネージャを用いることによって、HRMOSから応募完了したタイミングで任意のコンバージョンタグを埋め込むことが可能です。

本資料では、任意のコンバージョンタグを埋め込む方法をご案内いたします。

設定をはじめる前に、あらかじめGoogle タグマネージャのアカウントをご準備いただきますようお願いいたします。

Google タグマネージャ

<https://www.google.com/intl/ja/tagmanager/>

Google タグマネージャとは？

Googleが提供している、サイト解析、リマーケティングをはじめ、さまざまな用途のタグの追加/更新を、マーケティング担当者が簡単に行うことができるツールです。

目次

1. HRMOSの求人ページで、Google タグマネージャが使えるように設定する
2. HRMOSの応募フォームで、応募完了したタイミングで任意のタグを実行する
3. 応募完了したページビューをGoogle アナリティクスへ送信するには（任意設定）

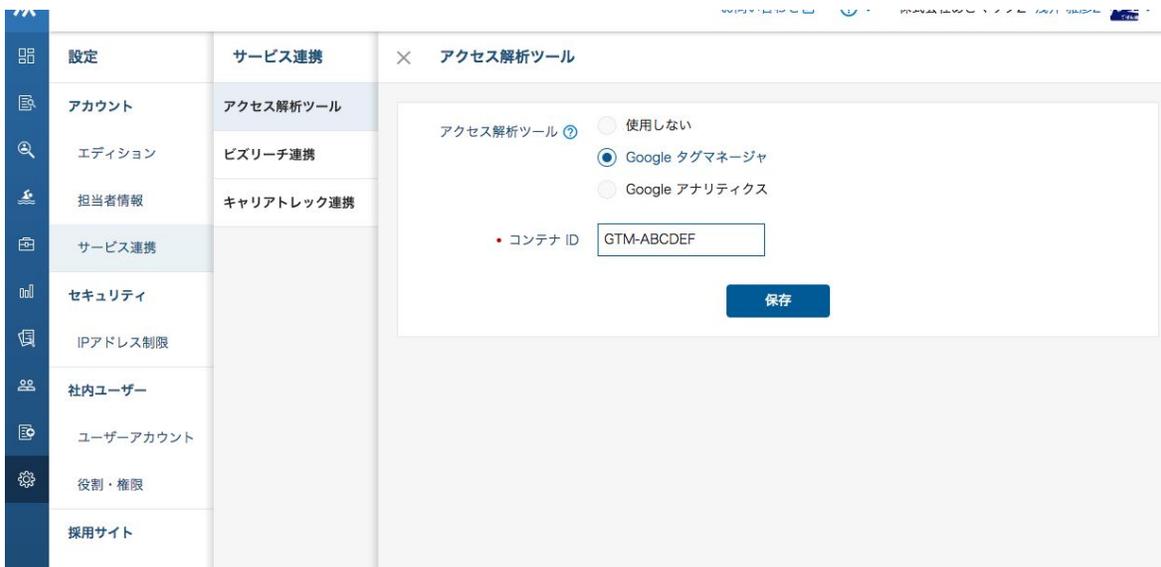
1 HRMOSの求人ページで、Google タグマネージャが使えるように設定する

お客様がお使いのGoogleタグマネージャをHRMOSで設定いただくことで、求人ページにGoogle タグマネージャのタグをインストールできます。

設定手順

1. [HRMOSの設定画面](#)を開き、サービス連携→アクセス解析ツールの順にクリックして、アクセス解析ツールの設定画面を開きます。
2. 画面中ほど、“アクセス解析ツール”のセクションで「Google タグマネージャ」のラジオボタンを選択します。
3. Googleタグマネージャの管理画面に表示されているコンテナIDを入力し、「保存」をクリックします。

一通り設定が出来ますとこのような画面になります。



1-2. 求人ページのページビューを（Google タグマネージャを経由して）Googleアナリティクスで計測する

設定手順

1. 求人ページにアクセスした時にのみ発火する「トリガー」をGoogle タグマネージャで作成します。



トリガーの設定につきましては、下記のように設定ください。



このトリガーの発生場所 一部のページビュー

イベント発生時にこれらすべての条件が true の場合にこのトリガーを配信します

Page Hostname	等しい	hrmos.co
Page Path	先頭が一致	/pages

設定ができましたら画面右上にある「保存」ボタンをクリックして閉じます。

2. 「Googleアナリティクスのページビュー」タグを追加します。

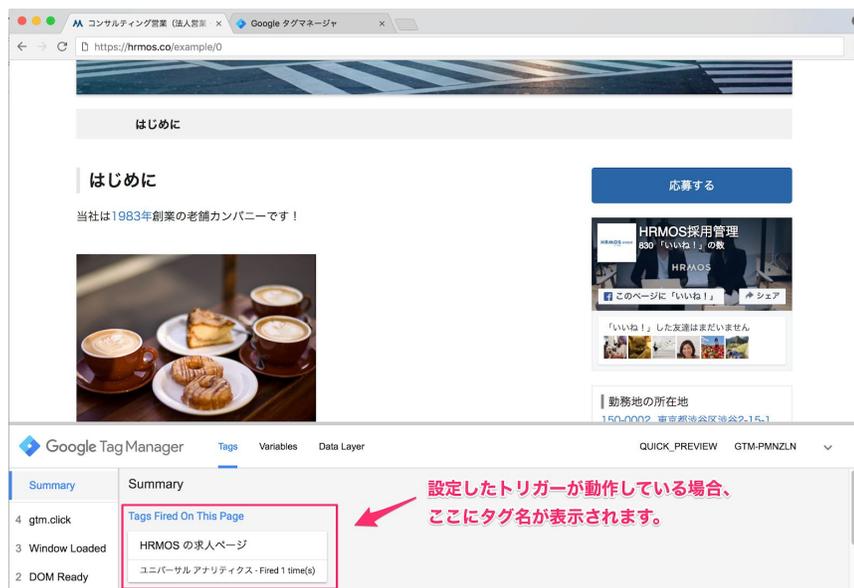
Google アナリティクス設定で、ページビューを送信したいGoogle アナリティクスのトラッキングIDを設定してください。



設定ができましたら画面右上にある「保存」ボタンをクリックして閉じます。

1-3. プレビューを行い、トリガーとタグが正常に動作していることを確認する

Googleタグマネージャーのプレビュー機能を用いて、作成した求人ページへアクセスすると、画面下部にGoogleタグマネージャーの動作結果が表示されます。上記手順「1-1」「1-2」の設定が完了したら、下記のような画面になります。



問題ないことを確認したうえで、Googleタグマネージャーのプレビューを終了し、公開ボタンをクリックしてタグを公開してください。

2 HRMOSの応募フォームで、応募完了したタイミングで任意のタグを実行する

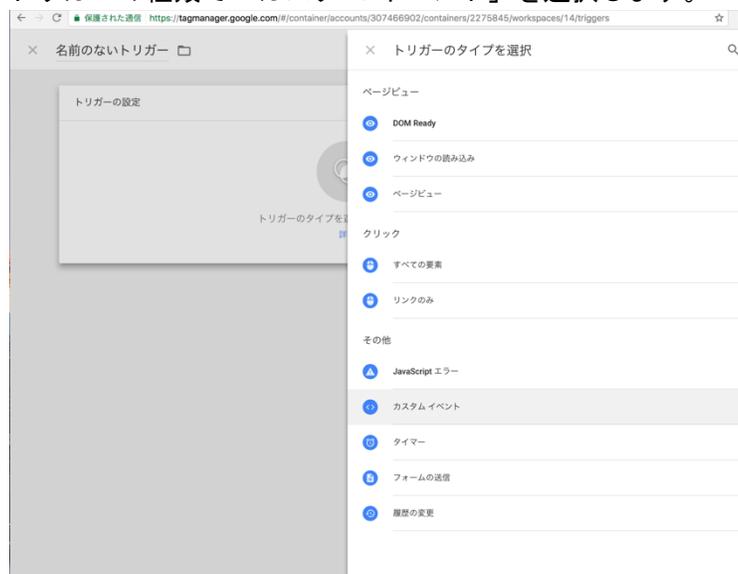
2-1. 応募完了トリガーをGoogle タグマネージャに追加する

HRMOS の応募フォームでは、応募が完了すると、Google タグマネージャに向けて「appliedPageView」というイベントが発信されます。

この appliedPageView イベントを Google タグマネージャのトリガーに設定することで、HRMOSで応募が完了した際に任意のコンバージョンタグを実行させることができます。

設定手順

1. Google タグマネージャの画面上部にあります「ワークスペース」をクリックします。
2. 続いて左側のナビから「トリガー」をクリックします。
3. トリガーの種類で「カスタム イベント」を選択します。



4. 続いてイベント名に「appliedPageView」と入力します。このトリガーの発生箇所を「一部のカスタム イベント」に設定し、“page Hostname, 等しい, hrmos.co” に設定します。



5. 一通り設定が完了すると、このような画面になるはずです。
6. 画面上部のタイトル欄でトリガーの名前を付けます。
※ここでは便宜上「HRMOS で応募完了」というタイトルのトリガーを作成しました。

最後に、画面右上「保存」をクリックして閉じます。

2-2. HRMOS での応募完了時に任意のコンバージョンタグを設置する

各種マーケティングに関連するコンバージョンタグをGoogle タグマネージャ側で設定します。

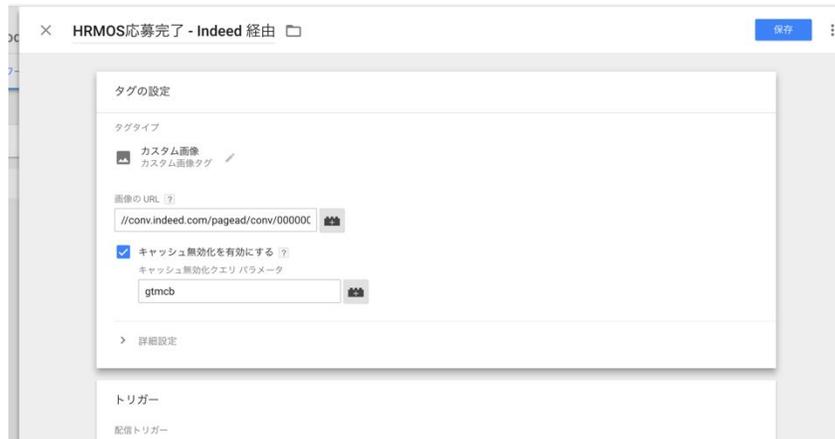
必要に応じて、Google タグマネージャの「タグ」で登録を行なってください。
タグを登録する際、トリガーの欄で先ほど作成いただいた「HRMOS で応募完了」トリガーを選択してください。

一例といたしまして、今回はIndeed様のタグ（コンバージョントラッカー）を設置する方法をご紹介します。

設定手順

1. Google タグマネージャの設定画面を開き、左側のナビゲーションから「タグ」を選択します。
2. 続いて「新規」をクリックします。

3. 「タグの設定」セクションで、「タグタイプを選択して設定を開始...」をクリックして、「カスタム画像」を選択します。
4. 画像のURLという項目が出てきますので、Indeed様から提供されたコンバージョン画像URLを入力してください。
5. 「トリガー」のセクションで、先ほどトリガーで追加した「HRMOS で応募完了」のトリガーを選択します。



6. 保存をクリックして閉じます。

以上で、応募完了時に任意のタグを発動させる設定ができました。

設定ができれば

Googleタグマネージャで設定が完了したら、最後に「公開」を行なってください。応募完了時にタグが発動するようになります。

公開とバージョン

<https://support.google.com/tagmanager/answer/6107163?hl=ja>

3 応募完了時のページビューをGoogle アナリティクスへ送信するには（任意設定）

HRMOS の企業アカウント設定にて「Google タグマネージャ」と連携を設定している場合、そのまま設定しただけでは求人ページへのページビュー計測はできますが、応募完了のページビューは計測できません。

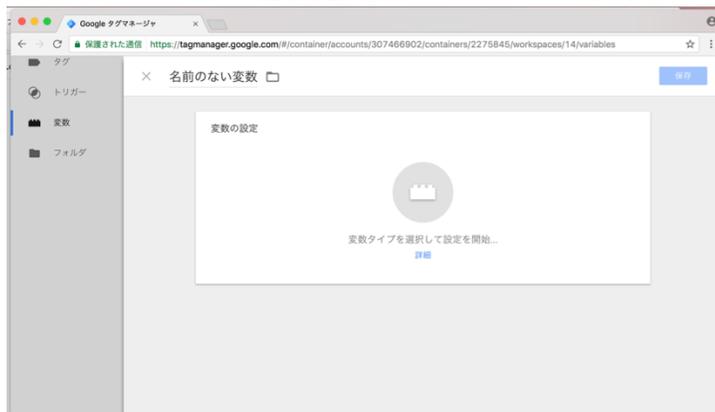
応募完了のページビューを計測するにはGoogleタグマネージャ側で追加の設定が必要となります。下記の設定を行なっていただくことで、応募完了ページへのアクセスがトラッキングできるようになります。

3-1. ユーザー定義変数を設定する

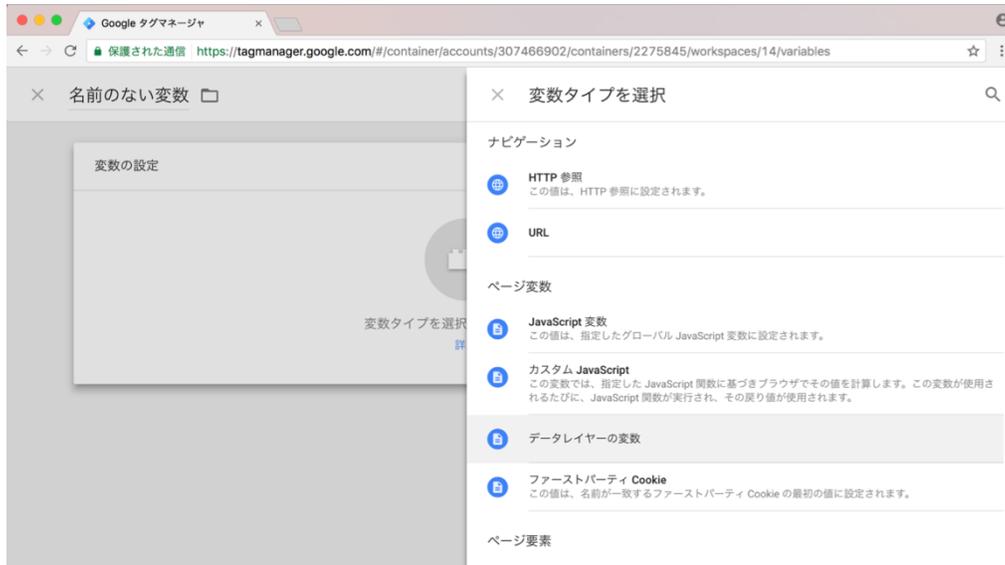
まずはじめに、下記の手順で変数の設定を行ないます。

設定手順

1. Google タグマネージャの画面上部にあります「ワークスペース」をクリックします。
2. 続いて左側のナビから「変数」をクリックします。
3. 画面下部「ユーザー定義変数」のセクションにある“新規”ボタンをクリックします。



4. 「変数タイプを選択して設定を開始...」をクリックし、「データレイヤーの変数」を選択します。



5. 画面上部の「名前のない変数」の欄と「データレイヤーの変数名」の欄、計2箇所を「appliedPageUrl」と入力します。(下記のスクリーンショットを参考にしてください)



6. 保存をクリックして閉じます。
7. 上記3~6と同様の手順で「appliedPageTitle」「applicationId」というデータレイヤー変数も設定します。

8. 上記3~7の設定が一通り完了しますと、変数画面は下記のように3件の変数が新たに追加された状態になります。

The screenshot shows the GTM workspace interface. The top navigation bar includes 'ワークスペース' (Workspace), 'バージョン' (Version), '管理' (Management), 'GTM-XXXXXX', 'ワークスペースでの変更数: 1', 'プレビュー' (Preview), and '公開' (Publish). The main content area is titled '現在のワークスペース' (Current Workspace) and '組み込み変数' (Built-in Variables). The '組み込み変数' section contains a table of built-in variables. Below it, the 'ユーザー定義変数' (User-defined Variables) section is highlighted with a red box and a red arrow pointing to the 'applicationid' variable.

名前 ↑	タイプ
Click Classes	データレイヤーの変数
Click Element	データレイヤーの変数
Click Text	自動イベント変数
Event	カスタム イベント
Form Element	データレイヤーの変数
New History Fragment	データレイヤーの変数
Old History Fragment	データレイヤーの変数
Page Hostname	URL
Page Path	URL
Page URL	URL
Referrer	HTTP 参照

名前 ↑	タイプ	フォルダ	最終更新日
applicationid	データレイヤーの変数	HRMOS応募完了	数秒前
appliedPageTitle	データレイヤーの変数	HRMOS応募完了	1年前
appliedPageUrl	データレイヤーの変数	HRMOS応募完了	1年前

3-2. 応募完了ページビューをトリガーにして、Google アナリティクスへのページビューを実行する

設定手順

1. 左のナビゲーションから「タグ」を選択し、「新規」をクリックします。
2. タグタイプを選択して設定を開始...で「ユニバーサルアナリティクス」を選択します



3. タグの設定では下記のように設定します。
- ・トラッキングID：御社がご利用されているGoogle アナリティクスのトラッキングID。
 - ・トラッキングタイプ：ページビュー
 - ・詳細設定：「設定するフィールド」に、下記フィールド名と値を入力します。

フィールド名	値
page	{{appliedPageUrl}}
title	{{appliedPageTitle}}

タグの設定

タグタイプ
ユニバーサル アナリティクス
Google アナリティクス

トラッキング ID ?
UA-11111111-1

トラッキングタイプ
ページビュー

▼ 詳細設定

▼ 設定するフィールド

フィールド名	値
page	{{appliedPageUrl}}
title	{{appliedPageTitle}}

+ フィールド

> カスタム ディメンション

> カスタム指標

・応募者がどの参照元/メディアからアクセスがあったのか計測したい場合は、カスタムディメンションの値に applicationId を設定してください。

※インデックスの番号については、御社がご利用のGoogle アナリティクスのカスタム定義 > カスタムディメンションの設定をご確認ください。
 ※Google アナリティクス側もカスタムディメンションの設定が必要です。詳しくはGoogle アナリティクスヘルプをご参照ください。

カスタム ディメンションやカスタム指標を設定、編集する
<https://support.google.com/analytics/answer/2709829?hl=ja>

▼ 設定するフィールド

フィールド名	値
page	{{appliedPageUrl}}
title	{{appliedPageTitle}}

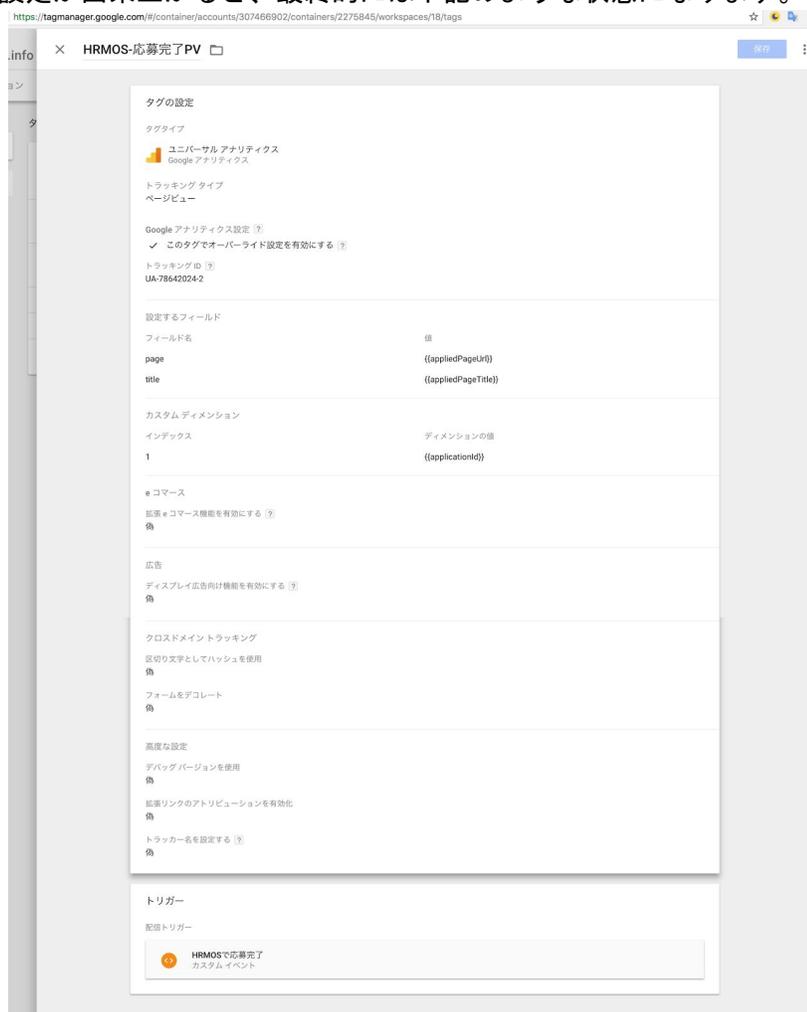
+ フィールド

▼ カスタム ディメンション

インデックス	ディメンションの値
1	{{applicationId}}

+ カスタム ディメンション

4. 保存をクリックし、続いて「トリガーを選択してこのタグを配信...」をクリックします。トリガーの欄では、2-1 で設定した応募完了トリガー(HRMOS で応募完了)を選択します。
5. 設定が出来上がると、最終的には下記のような状態になります。



6. 画面右上の保存をクリックして閉じます。

設定ができたら

Googleタグマネージャで設定が完了したら、最後に「公開」を行なってください。応募完了時にタグが発動するようになります。

公開とバージョン

<https://support.google.com/tagmanager/answer/6107163?hl=ja>

ご留意事項

- 本資料で紹介されている商品またはサービス等の名称は、各社の商標または登録商標です。
- Google、Google タグマネージャは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- 本資料の内容は 2017 年 10 月までの情報をもとに画面を再現しています。各サービスの機能アップデート等により画面のイメージと同一ではない場合がございます。